

同志社大学

2013年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014年 3 月 20 日提出

所 属	職 名	氏 名
心理学部	教授	鈴木直人
研 究 題 目	感情語辞典の作成を目指す基礎的研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>今年度のこのテーマに関する研究は、外部調査会社にいらして、全国を、北海道・東北、関東・甲信越、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州・沖縄の6地区に分け核150名(男子75名、女子75名)にアンケート調査を実施した。アンケートの内容は、感情語として思いつくものを、思いついた順に20単語、上げさせるものであった。同様に、ポジティブな感情、ネガティブな感情、ポジティブでもネガティブでもない感情を表す単語、感情を表すと思われるオノマトペを思いつくままに20語まで上げるように求めた。このとき年齢も18歳から70歳の範囲でなるべく等分になるように依頼した。こうして得られた単語を、心理学を学ぶ大学院生20名に感情語と捉えてよいかどうかを評価させた。この結果が、ようやく出揃ったところで、現在、集計作業を行っている最中である。まだ解析途中ではっきりしたことはいえないが、感情語としてあげられた単語は、怒りのように基本的に感情そのものを表す単語、感情の概念を表して入るが、感情そのものをあらわしているわけではない単語、ある単語が感情を表すように形容する単語、比喩的に感情を表す単語、オノマトペなどに分類できるのではないかと予想している。次年度はこの分析に基づいて、一つ一つの感情語がどのような場面で使用されるものかを中心に検討する予定である。</p>	